



松原かわら版

世帯数 1,157 戸
人口 2,967 人
(平成 27.9.1 現在)

「ぷらっとカフェ」始めました♪

松原地区町会連合会副会長
下村 純



8月中旬から、高齢の方を対象にしたお茶のみ場が、松原町内公民館(古い方の公民館)に「ぷらっとカフェ」としてオープンしました。

毎水曜日と毎土曜日の午前10時から12時まで、公民館は高齢の方が自由に利用できる喫茶店に変身します。セルフサービスですが、飲み物とお菓子は自由に利用していただけます。もちろんお代わりも自由です。また、高齢の方が対象といっても、年齢制限はありませんので、若い方も気軽に遊びに来てください。

まだ、始まって1ヶ月程度ですが、こんな方々が利用されています。
・自宅から歩いて「ぷらっとカフェ」に来て、コーヒーを飲み、一息ついたら、散歩の続きに出かける。
・水曜と土曜は毎回オープン



しているので、お友達との打ち合わせや、待ち合わせの場所として利用する。
・特に目的はないが、行くところ誰かしらがいるので、暇つぶしに出かける。(ぷらっとカフェには必ず、ボランティアスタッフが2名常駐しています)
さらに、ぷらっとカフェでは、車椅子の方や移動に手助けが必要な方を対象に、送迎タクシー(有償)のご案内も



いたしております。
ぷらっとカフェの運営は、松原地区町会連合会と地域づくりセンター、地区公民館、福祉ひろばのオールスタッフ体制で取り組んでいます。また、松本市や松本市社会福祉協議会からも資金的な援助をいただいております。
ぷらっとカフェは営業時間内であれば、いつ来ていただいても、いつお帰りになっても自由です。お知り合いの方たちのお喋りの場所として、お一人で読書や裁縫をする場所として、様々なスタイルでのご利用を心からお待ちしております。
※送迎タクシーのご要望につきましては、松原地区地域づくりセンターへご相談ください。

ようこそ松原へ

今回は第3町会にお住まいの堀川さんご夫妻にお話を伺いました。



堀川さんご夫妻

◆いつからこちらにお住まいですか?以前はどちらにお住まいでしたか?
——平成26年2月に家を新築して、1年半ほどになります。以前も松本市に住んでいました。

◆なぜ松原に住むことを選んだのですか?
——松原の近くに両親が住んでおり、できるだけ近くに家を建てたいと思っていました。また、私自身、明善中学校に通っていたので土地勘もあり、安心して住める場所だったということも大きな理由です。

◆実際に住んでみてどんな感想を持たれましたか?
——松原に住み始めてからすぐに、町会の行事などに誘っていただき、松原のみなさんの温かさを知ることができました。また、我が家では犬を飼っているのですが、どの公園も綺麗に整備されていて驚きました。公園ではこどもたちが楽しそうに遊んでいて、明るく優しい街だと感じました。

◆松原地区がどのような場所か?
——引越してくる前は、松原にたくさんの公園や松原モールなどといった、素敵な場所があるということをよく知りませんでした。こういった施設がたくさんあるということ、松原地区以外の方々にも知ってもらえる機会があれば、もっと松原が賑やかで楽しい街になるのではないかと思います。

◆松原地区に住むことを選んだ理由
——松原の近くに両親が住んでおり、できるだけ近くに家を建てたいと思っていました。また、私自身、明善中学校に通っていたので土地勘もあり、安心して住める場所だったということも大きな理由です。





ニジマスの掴み取り



松原地区民生児童委員協議会
会長 目黒 弘

松原いづら祭が盛大に行われました。暑い一日でしたが、たくさんの方が来て各店舗とも賑わっていました。

子どもたちが毎年楽しみにしているニジマスの掴み取りは4時から開催されました。大勢の子どもたちがせせらぎに泳いでいるニジマスを見て、今か今かと待っていました。いよいよ始まりですと、子どもたちは一斉に川に入り、素早く泳ぐニジマスを夢中で追って、「掴まえた」「逃げられた」と声を上げ、びしょ濡れになって掴まえると嬉しそうに大事に塩焼きコー

ナーへ魚を持ってきます。衛生管理上の問題から、魚の処理は屋外ではなく、少し遠いですが町内公民館の調理室で下処理をしています。町内公民館で処理が済んだものを、会場の塩焼きコーナーで焼き、子どもたちに提供するという工程で行いました。

会場が分かれての作業となり大変でしたが、子どもたちが「熱い、熱い」と言ってマスをほおばる姿に、つい笑顔になりました。みなさんも子どもの時の楽しい思い出がたくさんあると思います。私事ですが、夏休みなどは近くに大きな川があり、朝から夕方まで泳いだり、魚を獲ったりして遊んだ思い出があります。松原の子どもたちも大人になって松原いづら祭のニジマス掴み取りが楽しい思い出に残ることと思います。

スタッフのみなさまも前日からせせらぎの清掃からニジマスの下処理作業、焼き方とありがとうございました。これも良い思い出としてください。



最高の天候、よく売れました

第3町会町会長 井垣 孝夫

今年のいづら祭も、昨年同様良い天気に恵まれ盛大に開催されました。松原第3町会では、例年通りフランクフルトの販売を行いました。

販売ブースは、今までの役員の方々が作成してくれた大きな看板、のぼり、ポップ等を有効に使い、華やかに作る事ができました。大きな看板は毎年の使用でいたみもあり、副町会長の渡辺さんが補修、再ペイントを行い、一段とパワーアップした物として飾る事ができました。昨年の販売状況から今年の販売数の予測をしたわけですが、あまり早く売り切れてはせっかく来ていただくとお客様に申し訳ないと、昨年の本数を上回る800本(過去最高)のフランクフルトを用意しました。お祭りの終了時間が1時間早くなったので、売れ残ったらの心配をしましたが、そんな心配は無用でした。販売開始からお客さんが途切れる事はなく、予想を上回る販売スピードで、19時頃には完売となりました。特に今年は何本も買われるお客さんも多く、一時は提供が間に合わずお待たせする事も度々ありました。また、冷めたまま出

てしまった品物もありご迷惑をお掛けしてしまいました。お祭り広場には本当に多くの皆さんにお越し頂き、大変盛り上がりた「いづら祭」になったと思います。準備、販売、片付けとご協力を頂きました役員の方々に本当にご苦労様でした。また来年も皆さん食べに来てください!!

コラム 北の旅人

この夏行われた高校野球100周年の記念大会。今年も幾多の名勝負を生んで感動と歓喜に沸きました。

私自身、二十数年前、汗と泥にまみれ白球を追った高校球児でした。当時、仲間と過ごす時間は家族よりも長く、共に頑張ってきた時間の長さが絆を生み、団結力を強めました。

松原に住み始め、三年目になり、去年から役員として各行事に参加させていただいて



います。いづら祭では、それぞれの役割の中でチームワークの良さを発揮し、松原地区の団結力の強さをとても感じました。

全員で同じ目標に向かって力を合わせ協力し合うことは、形は違っても、絆を生み、感動を生みます。

地区活動に参加して、高校時代の文化祭を思い出し、高校野球の熱い試合を見て、当時の自分を懐かしみ、何歳か若返った気になりました。

今後も若返りをはかるために(笑) 地区活動に参加したいこうと思つた暑い夏の日でした。

秋

哲を 八十路坂越ゆる巖しき彼岸花
秋立つや今夏の暑さつくづく
秋澄むやいつもながらの鉢の物